

☆7月から11月まで、なが〜い「まいにち^{へんか}変化する^{てんじ}展示」

テーマは、「はたらく^{じょうもんじん}縄文人」

コロナ禍^かのなか、世界中^{せかいじゅう}の多く^{おお}の人びと^{ひと}が、これまでの生活^{せいかつ}をふり返し、
これからの生きかた^いを考^{かんが}えるようになりました。その一つに、労働^{ろうどう}に^{たい}対する
意識^{いしき}の^{へんか}変化があります。

展示^{てんじ}では、縄文時代^{じょうもんじだい}の人びと^{ひと}の働^{はたら}き方^{かた}に焦点^{しょうてん}を当てます。彼ら^{かれ}が何^{なに}を
考^{かんが}え、何^{なん}のために、どのように働^{はたら}いていたのか、遺跡^{いせき}や出土品^{しゅつどひん}から見えて
くる働^{はたら}く縄文人^{じょうもんじん}のすがた^{かんが}を考^{かんが}えます。



ふくげん ばっさいよう おの
復元した伐採用の斧



あせ なみだ たてあなじゅうきよ
汗と涙の竪穴住居づくり!!



じょうもんじだい き み
縄文時代の木の実

きかんちゅう しりょうかん なか そと
期間中、資料館の中や外、いろいろな
ばしょ かんれん てんじ すこ ふ
場所に関連する展示が少しずつ増えて
いきます。

あ が の し れ き し み ん ぞ く し り ょ う か ん 阿賀野市歴史民俗資料館

開館日: 4月～11月の土・日、祝日のみ開館
開館時間: 午前9時30分～午後4時30分
住 所: 阿賀野市福永910番地(旧山手小学校校舎)
連絡先: 0250-62-5322
(内線 325 生涯学習課文化行政係)



県内最大の土偶がお待ちしております

